

渡良瀬遊水地連携捕獲協議会総会開催結果について

令和 7 年 5 月
栃木県環境森林部自然環境課

1 協議会の目的

渡良瀬遊水地は、茨城県、栃木県、群馬県及び埼玉県 の 4 県にまたがる約 3,300ha の日本最大級の遊水地であり、多様な動植物が生息する生態系が形成されている。大部分が国指定の鳥獣保護区となっているほか、平成 24 年には国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されている。

令和元年度には、イノシシの生息を確認するとともにニホンジカも目撃されており、周辺市町への出没や農業被害が発生しているほか、貴重な湿原植生が被害を受ける可能性もある。

このため、4 県は令和 4 年 4 月 28 日に渡良瀬遊水地連携捕獲協議会を設立し、渡良瀬遊水地におけるイノシシ及びニホンジカ対策を広域で推進することとした。

2 令和 6 年度実施結果

(1) ドローンによる生息数調査

イノシシは全域で確認され、ヨシ焼き後の 3 月に 1,044 頭を確認した。

ニホンジカについては、遊水地北部で 15 頭を確認した。

(2) センサーカメラによる生息状況調査

センサーカメラを 25 台設置し、すべての地点でイノシシの生息を確認した。

ニホンジカは遊水地北部、東部で生息を確認した。

(3) わな猟による捕獲

くくりわな 160 基、箱わな 12 基、遠隔監視装置付き囲いわなを 1 基設置し、くくりわなで 80 頭、箱わなで 10 頭の計 90 頭のイノシシを捕獲した。ニホンジカはくくりわなで 2 頭の捕獲があった。

3 令和 7 年度実施予定

(1) ドローンによる生息数調査（令和 7 年 11 月～令和 8 年 2 月）

赤外線カメラを搭載したドローンを用いて、生息分布や頭数を調査する。

(2) センサーカメラによる生息状況調査（令和 7 年 5 月～令和 8 年 2 月）

定点に設置したセンサーカメラにより、分布や季節変動を調査する。

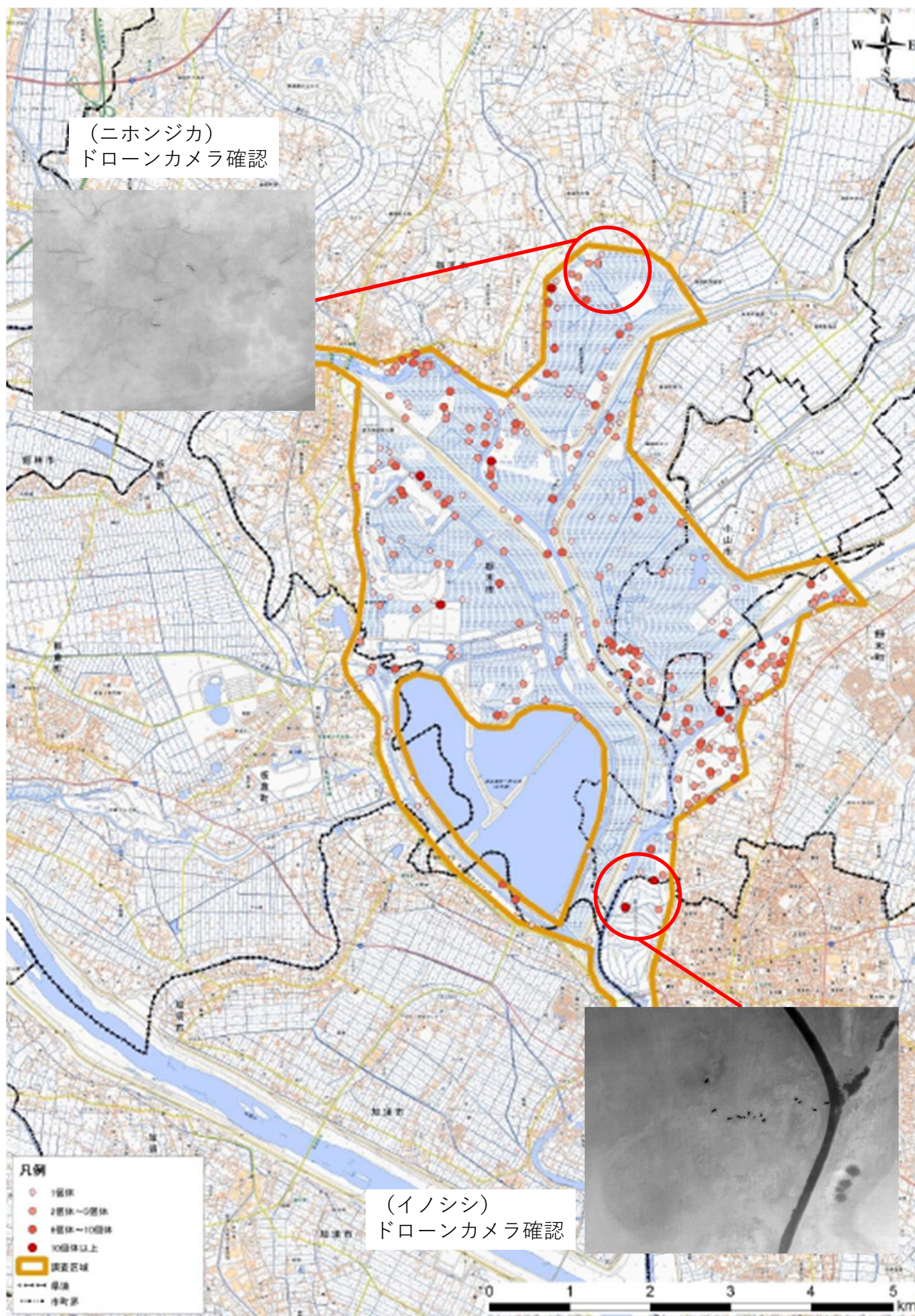
(3) イヤータグ型 GPS 発信器による生息状況調査（令和 7 年 7 月～令和 8 年 3 月）

イヤータグ型 GPS 発信器をイノシシに装着し、遊水地内での移動経路や行動範囲等を調査する。

(4) わな猟による捕獲（令和 7 年 11 月～令和 8 年 3 月）

箱わな、くくりわな及び遠隔監視装置付き囲いわなを用いて捕獲を行う。

イノシシ及びニホンジカ確認地点
(イノシシ1,044頭 ニホンジカ15頭)



捕獲実施地域及び捕獲頭数
(くくりわな160基、箱わな12基、囲いわな 1 基)
(イノシシ90頭、ニホンジカ 2 頭捕獲)

